

1 学校教育目標

○考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○「心のふるさと舎人小」を合言葉に、学校・保護者・地域、三者の協働で児童を育て、地域から愛され、地域を愛する学校 ○「正義、常識、礼儀、美徳、寛容、思いやり」を大切にし、「気持ちのよいあいさつ、時間を守る、困っている人は助ける、上級生は下級生の面倒を見る、うそをつかない、悪口を言わない、正直者が損をしない」等、当たり前前が当たり前前のできる学校
○児童・生徒像	○考える子・・・基本的な生活習慣を身に付け、主体的に学習に取り組み、よく考え、伸び伸びと表現する児童 ○思いやりのある子・・・人間尊重の精神を基調とし、これからの社会をたくましく生き抜くための能力と思いやりを身に付けた優しい児童 ○たくましい子・・・自らの健康の増進や体力の向上について、目標を立て、最後まで努力する児童
○教師像	○地域や保護者と協働し、教育目標の達成に向けて組織的に児童の育成に努める教師 ○児童の可能性を信じ、児童や保護者から信頼される教師 ○学級経営力や授業力の向上のために、妥協せず自らを磨き続ける教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

創立125周年を終えた、歴史と伝統のある学校である。学校全体が落ち着いた雰囲気の中で、教育活動が展開されている。教職員一人一人が、学級の児童や全校児童に積極的に関わり、熱意をもって教育活動にあたっている。

【前年度の成果と課題】

- 確かな学力の育成
 - ・教科指導専門員の指導を若手教員だけでなく全教員が受け、授業改善を行った。
 - ・文章を書く力、文章を組み立てる力、計算力、文章問題を解く力の育成を重点的に行い、4月実施の区調査の通過率を80%以上に維持できた。
 - ・6月までに「家庭学習の手引き」を全家庭に配布し、また家庭学習強化週間を年間3回（7・12・2月）実施した。家庭学習の定着率は95%以上でほぼ定着している。内容は吟味していきたい。
 - ・新学習指導要領に基づいた授業の理解を深め、改善を図ることが必要である。
 - ・パワーアップタイムや放課後補習の重点指導内容や方法を改善していくことが必要である。
 - ・毎日の読書を行う時間を少しでも増やすことや家庭での読書が課題である。
- 豊かな心と健康な体づくり
 - ・道徳授業の研修の実施、毎週のいじめ防止委員会での情報交換、「誰でも相談日」の実施を行った結果、いじめの発生件数は増えていない。
 - ・挨拶、返事、聞く態度のルールを全校で徹底して指導できた。挨拶がきちんとできるようになった結果、校外学習で毎回ほめられるようになった。
 - ・周りの人に対する感謝の気持ちをもつことが広く浸透している。
 - ・夜の就寝時刻が遅い子がいることと朝の排便の習慣化が課題である。
- 幼保小中の推進
 - ・幼保小交流で全教員が保育園を訪問し、就学に向けて準備する等、理解を深めることができた。
 - ・「確かな学力の定着」を図るために小中連携を進め、小中の学力向上の課題と解決策を3校で確認し合うことができた。
 - ・新学習指導要領に基づいた授業作りを小中連携で行っていきたい。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		29	30	31	32	33
1	確かな学力の育成	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心と健康な体づくり	○	○	○	○	○
3	幼保小中連携の推進		○	○	○	○

5 平成31年度の重点目標

重点的な取組事項－1	確かな学力の育成
-------------------	----------

A 今年度の成果目標	平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標
基礎的内容の定着、活用力の育成	区学力調査通過率80% 年度末の到達目標80%

B 前年度の取組み内容	
項目	具体的な方策
授業改善と授業力の向上	教科指導専門員と管理職による授業の指導。足立スタンダードに基づいた授業力を身に付ける。
正答率が低い問題を、年間を通して練習	つまずきに応じて、パワーアップタイムや放課後の補習で解けるようにする。
読書活動・言語環境の充実	読み聞かせや読書旬間の実施で、意欲的な読書活動を進める。毎日の読書量を増やす。
家庭学習習慣の定着	家庭学習強化週間を年間3回（7・12・2月）実施し、「家庭学習の手引き」を全家庭に配布する。

C 前年度の成果と課題
<p>○確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導専門員の指導を若手教員だけでなく全教員が受け、授業改善を行った。 ・文章を書く力、文章を組み立てる力、計算力、文章問題を読み解く力の育成を重点的にを行い、4月実施の区調査の通過率を80%以上に維持できた。 ・6月までに「家庭学習の手引き」を全家庭に配布し、また家庭学習強化週間を年間3回（7・12・2月）実施した。家庭学習の定着率は95%以上でほぼ定着している。内容は吟味していきたい。 ・新学習指導要領に基づいた授業の理解を深め、改善を図ることが必要である。 ・パワーアップタイムや放課後補習の重点指導内容や方法を改善していくことが必要である。 ・毎日の読書を行う時間を少しでも増やすことや家庭での読書が課題である。

D 今年度の目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">別紙</div> 「平成31年度 学力向上アクションプラン」参照		

重点的な取組事項－2		豊かな心と健康な体づくり
A 今年度の成果目標		達成基準
児童同士の良好な関係づくりと体力向上		児童アンケートでの児童、保護者の満足度90%の達成 都体力調査で都平均を60%上回る
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
いじめや友達関係の状況把握と良好な関係の指導	児童アンケート90%の実施	ふれあい月間での調査実施と教育相談の改善、週1回の情報共有
周りの人に対する感謝の気持ちを表現やあいさつの励行	児童アンケート90%の実施	全児童・開かれた学校づくり協議会を中心とした挨拶運動の実施
体力向上	都体力調査で都平均を60%上回る。	体育科授業の計画の見直し、改善投力を伸ばす取組みの工夫改善
健康な生活習慣の確立	早寝70%、早起き80%、朝ごはん95%	年2回生活習慣改善週間を実施、調査養護教諭による保健指導を全学級実施

重点的な取組事項－3		幼保小中連携の推進
A 今年度の成果目標		達成基準
幼保小の連携、小中の連携した教育を推進し、円滑で良好な接続の活性化		園児と児童の交流2回、中学生と児童との交流2回、小中全教員の研究会6回
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
近隣幼稚園保育園児との交流	園児と1年生の給食や交流行事を年2回以上行う。	年間計画に基づき交流活動を実施する。
小中連携	授業参観1回、授業公開2回	小中連携の日に学力向上をテーマに、授業を参観し、研修を深める。